

~News letter~



# かもみーる通信



63号 2015年9月

## 連携型「共同研究プロジェクト」募集中

### トピックス

- \* 共同研究プロジェクト
- \* 岐大フェア
- \* カモミール月曆
- \* 長良高校出前講義
- \* 男女共同参画フォーラム
- \* 保育園たより

平成27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の主要な取り組みの一つである連携型共同研究を募集中です。（1件あたり100万円程度の助成を5件程度予定）

本制度は、岐阜大学と共同実施機関（岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アピ株式会社）、ひいては岐阜県内の女性研究者の研究力向上を図り、研究者同士の交流・地域への定着、さらには上位職登用につながる、「地域循環型女性研究者育成支援」を趣旨としています。

補助事業による制度のため、種々制約がありますが、ご確認の上、ぜひご応募下さい。

### 申請者要件

応募締切  
10月15日（木）

- ・岐阜大学に所属する女性研究者。（男性研究者も共同研究者の対象となります。）  
（研究分野を問わない。特任教員、研究員・医員を含み、学生・院生である者を除く。）
- ・共同研究者に共同実施機関（岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アピ株式会社）に所属する研究者を1名以上含めなければ申請することはできない。本学内のみでの共同研究は申請できない。
- ・募集は各共同実施機関内でそれぞれにおいて行うが、他の3機関のいずれかの共同研究者として参加する者は、本学の共同研究には申請できない。

研究推進・社会連携機構が運営する研究資金情報（公募情報）検索サイトの検索画面

<http://www.orchid.gifu-u.ac.jp/kenkyu/researchfund/>

で「キーワードから探す」に『平成27年度連携型共同研究助成』と入力すると詳細が表示されます。

## 岐阜大学フェア2015に出展します

10月30日（金）、31日（土）におこなわれる「岐阜大学フェア2015」に男女共同参画推進室が参加します。

男女共同参画推進室は、本企画に2011年から参加し学内外の方々に取り組みを紹介しています。これまで男女共同参画推進室を利用されたことがない方も、この機会に当室の取り組みをご覧いただき、引き続き活動へのご協力をお願いできれば幸いです。

岐阜大学フェア2015にお越しの際には、ぜひ当室のブースにもお立ち寄りください。



▲昨年度のパネル

# カモミール月曆（室長からのメッセージ）

副学長（多様性人材活力推進担当） 林 正子

## 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」 「地域循環型女性研究者育成・支援プログラム」本格的始動にあたって

8月28日（金）の参院本会議で「女性活躍推進法」が可決されたことは、皆さん既にご存知のことでしょう。女性の登用促進を趣旨として、従業員301人以上の企業や国・地方自治体に、採用者や管理職に占める女性比率などの数値目標の設定・公表が義務づけられました。2016年3月末までに「行動計画」を策定、4月1日に公布と同時に施行することが義務づけられた本推進法は、2025年度までの時限立法となっていることから、集中的な対応が求められています。

また、国立大学協会は、「国立大学の使命と役割、国立大学の置かれている状況を踏まえた上で、まずは国立大学の基本機能の維持向上、優れた資質・能力を有する多様な入学者の確保と受入環境の整備（ポイント1）、大学間の機能的な連携・共同による教育研究水準の向上（ポイント2）を着実に推進していく」との決意を明らかにしました。

「国立大学の将来ビジョンに関するアクションプラン」（2015年9月14日）を、次のURLにてどうぞご覧下さい。

<概要> <http://www.janu.jp/news/files/20150914-wnew-actionplan1.pdf>  
<工程表> <http://www.janu.jp/news/files/20150914-wnew-actionplan2.pdf>  
<工程表> <http://www.janu.jp/news/files/20150914-wnew-actionplan3.pdf>

「ポイント1：優れた資質・能力を有する多様な入学者の確保と受入環境の整備」に向けて、第3期中期目標期間（2016年度～2021年度）に取り組む6項目のうち第4項に挙げられているのが、「**女子学生及び女性教員の受入環境の整備**」です。国立大学の女子学生比率が学部で37%、大学院では30%以下であり、工学分野では学部でも12%にとどまっていることが指摘され、「女子学生及び女性教員の受け入れ環境を整備する」ことの重要性が、次の例示によって強調されています。

（例）大学は、女子学生や女性教員について、ライフイベントなどとの両立支援体制を強化する。特に、理工系、社会科学系などの女性比率の低い分野を中心に、積極的な募集活動や環境整備を通じて、比率向上に努める。

国は、各大学の規模、特性、分野、女子学生・女性教員比率の現状を踏まえ、積極的に比率向上に努める大学を支援する。

国立大学協会によるこのような「アクションプラン」からも、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」（女性研究者研究活動支援事業）が、今後も継続されていくことが推測されます。今年度「連携型事業」として採択された、岐阜大学を代表機関とする「**地域循環型女性研究者育成・支援プログラム**」（共同実施機関：岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アビ株式会社）の取り組みを、皆さんとともに着実に実践・展開してゆくことの重要性を改めて痛感している次第です。

本号1頁に掲げましたように、女性研究者の研究力向上の取り組みの一環である「**連携型共同研究**」の募集を開始しました。補助事業による制度のため、「申請者要件」などに種々制約がありますが、趣旨を理解し参加していただきますよう、大勢の女性研究者の方々、共同研究者（男性研究者を含む）の方々への普及を願っています。

さて今回の「カモミール月曆」、未筆ながら、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」事業の取り組みについて、**名古屋工業大学男女共同参画推進センター**の方々と非常に意義深い意見交換の場をもつことができましたのでご報告いたします。

9月9日（水）、学長特別補佐の藤岡伸子先生、統括コーディネーターの乙部由子さん、人事課（男女共同参画推進センター担当）の大埜生雄さんをカモミール・カフェにお迎えして、イーブルなごや指定管理者アイ・コニックグループとともに主催なさっている「**ものづくり企業のための女性技術者リーダー養成塾**」<https://e-able-nagoya.jp/topics/1188/>をはじめ、名工大の取り組みや実施体制についてご教示いただきました。

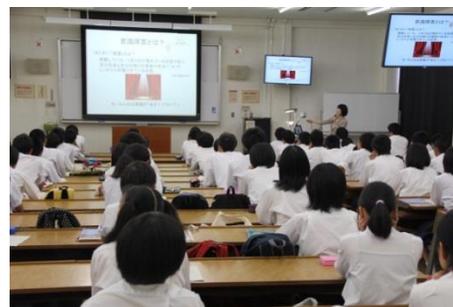
「ものづくり企業のための女性技術者リーダー養成塾」は、東海地域に本社および事業所のある製造業の女性技術者を対象に、リーダーとして必要なスキルを学び、キャリアデザインを熟考することによって、キャリアアップを目指すことを促進する事業です。大変充実したプログラムから啓発されること頻りです。「地域循環型女性研究者育成・支援プログラム」でも、ぜひ参考にさせていただきたいと願っています。

藤岡先生はじめ名古屋工業大学男女共同参画推進センターの皆様、本当にどうもありがとうございました。



# 長良高校出前講義

9月15日（火）岐阜大学全学共通教育棟にて、工学研究科博士課程2年の山口きららさん、医学系研究科博士課程2年の宇佐見希子さん、応用生物化学研究科1年の河上巴さんが、岐阜県立長良高等学校の1年生400名を対象とした出前講義をおこないました。

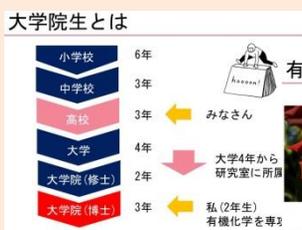


山口さんは有機化合物の研究について、宇佐見さんは、自身の研究と看護師としての仕事との両立について、河上さんは、域外保全活動としての動物園動物のホルモン測定の研究を紹介しました。

いずれの講義でも研究テーマと大学院での生活が紹介され、大学での研究への興味が喚起されたようです。受講した高校生からは「好きなことをたくさん勉強できるのはいいことです。大学受験がんばります。」、「大学院の研究などについてわかり、大学が楽しみになりました。」、などの意見が寄せられ、今回の講義を通して、大学受験を乗り越えた先の楽しみや、研究の興味深さを伝えることができたようです。



▲ 山口きららさん



## 光る化合物の研究と進路選択

**有機化合物**

赤いバラ 青いバラ

違いは？

- 炭素、水素、酸素、二次元分子
- 分子レベル(ピコ)が生体レベル(メートル)へ波及

**研究内容**

光エネルギーで、紫外線を可視光にする！

いろんな色が作れたら...  
例えば、光の三原色を作れたら...

三色の強弱により、どんな色でも再現できる



▲ 宇佐見希子さん

## 意識障害がある患者さんの表現を取り戻す～看護への挑戦！～

本日の内容

看護への挑戦！意識障害がある患者さんの表現を取り戻す

- 私の研究活動と大学院生活
  - 意識障害って何だろう？
  - 研究に取り組む動機
  - 働きながら学ぶこと
- 私の進路選択

私達はなぜ考え、行動できるのか？

自己管理：卒業を目指し綿密な研究計画

2014.4月	2015.3月	2016.12月	2017.3月
研究計画書 提出	研究実施	論文作成	論文発表
研究計画書 提出	研究実施	論文作成	論文発表
研究論文を提出、発表			



▲ 河上 巴さん

## 動物の絶滅を救う研究～生息域外保全～

わたしの研究生生活と進路選択

岐阜大学 応用生物化学研究科 生産環境科学専攻 修士課程1年 河上 巴

どうやって糞中ホルモンを抽出するの？

糞を乾燥する。 秤量する。 メタノールでホルモン抽出。

結果の一例

糞中のプロゲステロンを調べたもの

自分の好き・得意にプライドをもとう！

# 男女共同参画推進フォーラム

## ～一人ひとりの活躍が社会を創る～

8月20日（木）から22日（土）にかけて、NVEC（国立女性教育センター 埼玉県武蔵嵐山）で男女共同参画推進フォーラムが開催されました。8月20日の特別講演では、横浜市で保育園の待機児童をゼロにしたことで有名な**林文子市長**が登壇し、林市長が民間企業で働き始めた当時、新人の女性を集めて「君たちはあと5年でやめていくのだよ」と言われたことや、女性が男性とともに働く求職活動の大変さ、そして、民間出身の林市長が横浜市という地方自治体で、斬新な改革をしていく苦労談などが印象的でした。

21日から22日には、NPOや学生、市民団体などのさまざまなグループによるワークショップが開催されました。21日には、岩手大学男女共同参画推進学生委員会による「学生の視点から見る男女共同参画～結婚って何だろう？～」というワークショップがおこなわれ、学生が男女共同参画について考えたり、より良い人生を歩むための知識を学生間で共有する活動を学内外で行っている男女共同参画推進学生委員会の学生3名が、2015年度に実施した「学生の結婚観」をテーマにした調査報告を通じ、「学生の視点から見る男女共同参画」について発表しました。今、全国各地の大学で組織されている「男女共同参画推進学生委員会・サークル」ですが、とすれば職員・教員のみが対象になりがちな岐阜大学男女共同参画推進室の取り組みにも、新たな視点をもたらしてくれました。22日には「ダイバーシティの本質と魅力を学ぶ会」や「渋谷区と台東区の男女平等条例制定」に関するワークショップなどがあり、3日間を通じてとても有意義な研修となりました。

## 夏 保育園たより 祭



▲穴にボールを入れると横から出てきました☆ふしぎ～☆



▼くっつくんです♪



▼磁石で魚釣り ▲かき氷初体験の子も！



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel：058-293-3378 Fax：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

\*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。